

建築設備士 総合講習

JABMEE SENIOR を目指す方は、本講習会の受講が必須となります。

建築物における建築設備のウエートが高まり、建築設備士の役割がますます大きくなりつつあり、常に新しい知識を幅広く修得しておくことが極めて重要であります。そこで、当協会では、従来の更新講習の意義を継承し、建築設備士として必要不可欠な内容を盛り込んだ総合講習を実施することとなりました。講義では、空調・衛生・電気・防災の各分野における、それぞれの新技術の動向とその導入事例、また、最近、制定、改正された建築設備関係法規、建築設備に関する事故例とその対策等について解説します。

なお、本講習会は、当協会が実施する JABMEE CPD (継続職能開発) 制度「建築設備士の専門領域認定コース」の必須プログラムとして位置づけられ、受講者には 20 単位 (講義 13 単位、レポート 7 単位) が与えられます。

主催 (社) 建築設備技術者協会

協賛 (社) 空気調和・衛生工学会、(社) 電気設備学会、(社) 日本空調衛生工事業協会、(社) 日本設備設計事務所協会、(社) 日本電設工業協会

テキスト監修 (財) 建築技術教育普及センター

開催日時と会場 各地開催の詳細な日程は、決まり次第、協会ホームページでもお知らせします。

東京 (定員 100 名) 平成 21 年 6 月 25 日 (木) 9:30 ~ 17:30 コンベンションホール A P 浜松町
港区芝公園 2-4-1 ダヴィンチ芝パーク B 館

プログラム (プログラム内容・時間等は、事情により変更することがあります。)

時間	プログラム名・講師 (敬称略)・講義概要	
9:30 ~ 9:50 (講義時間:20分)	倫理	主催者挨拶と『技術者の倫理』について [東京] 牧村 功 (社) 建築設備技術者協会 会長 / (株) 日建設計 顧問
9:50 ~ 10:40 (講義時間:50分)	共通	総論・建築設備共通事項の新技術と事例 [東京] 川瀬 貴晴 千葉大学大学院 工学研究科 教授 講習の概要、および建築設備に関する国内外の環境性能評価指標の概要と特徴、最近の維持管理の動向およびそれぞれの事例
10:50 ~ 12:40 (講義時間:110分)	空調・衛生設備	空調・衛生設備の新技術と事例 [東京] 白鳥 泰宏 (株) 竹中工務店 東京本店設計部副部長 設備担当 環境配慮型空調設備の設計手法と先端設計技術、給排水衛生設備における安全・衛生性の確保の重要性と最新の計画、それぞれの事例
13:40 ~ 15:20 (講義時間:100分)	電気・防災設備	電気・防災設備の新技術と事例 [東京] 横山 正博 (株) 日建設計 監理部門副代表・監理部長 環境負荷削減を考慮した電気設備および防災設備、電気設備の信頼性、押出排煙の解説、およびそれぞれの事例
15:30 ~ 17:00 (講義時間:90分)	法規	改正法規と事故例 [東京] 平山 信雄 (株) 住宅性能評価センター 中高層事業部担当部長 建築設備士に必要な建築基準法、消防法などの最近の改正法令・告示・通達内容および空調、衛生、昇降機、建築防災に関する事故事例
17:00 ~ 17:30	レポート作成	レポートを提出いただくことで、CPD 単位が 7 単位加算されます。

建築 CPD 情報提供制度について

建築 CPD 情報提供制度とは、建築士・建築設備士の研修としてふさわしい講習会等をあらかじめ認定し、その情報を公開するとともに、本制度参加登録者が認定講習会等に出席した記録を統一的に管理し、必要に応じて、その実績を証明する制度です。
参加登録方法、講習会等に関する情報、その他詳細については、(財) 建築技術教育普及センターのホームページ (<http://www.jaic.or.jp/>) をご参照下さい。

お申込書は次頁